

平成30年度 授業改善推進プランの公表について

平素より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。

本校では、平成30年度の1学期に実施した各学力調査の結果、及び授業の振り返りを踏まえ、この度、「平成30年度授業改善推進プラン」を作成し、公表いたします。

今後とも日々の授業改善に努め、児童の学力の一層の向上を図っていきます。保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

学力調査等に見られる本校の学力の実態・傾向

○「東京都児童生徒の学力向上を図るための調査」(現5年)平成30年7月実施

本調査結果において、本校の平均正答率は、社会において東京都の正答率を上回りました。東京ベーシックドリルへの取組や教科学習に照準を合わせた補習教室「ここにこ教室」を引き続き実施し、特に算数の基礎的な学力を高められるようにします。B問題の正答率は、算数で都の平均を上回りました。社会科では、AB問題合わせて7観点中5観点を都平均を上回りました。

問題解決的な学習を意識して、児童が主体的に取り組める授業改善に、全教職員で取り組んできたことが効果を上げています。

《国語》・A問題は基礎的な知識・技能をみる問題です。関心・意欲・態度は平均を上回るものの、平均正答率は、東京都の平均をやや下回りました。主語と述語の関係を確実に捉えさせるなど、基礎的、基本的な内容を確実に理解できるよう工夫し指導してまいります。

・B問題は基礎的な力を活用して問題を読み解く力をみる問題です。問題を取り出す力では、都の平均を上回りました。情報を取捨選択・活用する力を付けるための指導を行ってまいります。

《社会》・A問題、B問題の合計での平均正答率は、4教科で唯一、都平均を上回りました。

・評価の観点別で見ると、知識・理解の項目で大きく都平均を上回っています。今後も基礎的な知識や地図などの資料の読み取り方を身に付けさせるとともに、問題解決的な授業を行い、社会的事象の意味を考えさせる授業を行ってまいります。

《算数》・B問題の「取り出す力」「解決する力」の項目では都の平均を上回りました。A問題では関心・意欲・態度で、都の平均を上回っています。引き続き習熟度別指導や補習教室を行い、基礎的な力を身に付けさせるようにします。

・A問題の計算等の技能についての課題が見られますので、練習問題に取り組む時間を確保すると共に繰り返し指導します。

《理科》・A問題、B問題の平均正答率はともに都平均を下回りました。

・特にB問題の「取り出す力」に課題があるため、実験の結果を予想させたり、実験結果から分かることを自分の言葉でまとめさせたりするなど、問題解決的な学習を一層充実させ授業改善を図ります。

○「全国学力・学習状況調査」(現6年)平成30年4月実施

6年生にとっては、昨年度の都の調査に続く2度目の調査でした。国語A/B、算数A/B、理科のテストを行い、本校の結果は、昨年度と同様に全国の平均とほぼ同等でした。国語A/B、理科の問題で若干、都平均を上回っており、三小で学んだ成果が現れています。

国語では特に「読むこと」の項目で、本校の平均は都の平均点より5点ほど高く、日頃から読書に親しんできた成果が現れています。

算数では、ほぼ全ての項目で全国平均を上回っているものの、やや「数量や図形についての技能」の項目で間違いが多く、グラフ等の読み取りや単位量あたりの大きさなどで復習が必要です。

理科では、「観察・実験の技能」の項目で、全国、都の平均を大きく上回る得点ができていました。引き続き、実験・観察を行いながら実感を伴って理解させる授業作りを充実させてまいります。

質問紙調査の結果から、「家で学校の授業の予習・復習をしている」と答えた児童の割合が、東京都の割合よりも約10%も多く、家庭学習が定着している様子が分かりました。一方、「自分にはよいところがあると思う」と答えた児童の割合は若干低く、自己肯定感をさらにのばす子供との関わり方を家庭と学校の両方で心がけていきたいと思っております。

1. 立川市立第三小学校 授業改善推進プラン全体計画

【立川市教育委員会の4つの原則】

- 「確かな力」・・・確かな力の育成を図る教育の推進
- 「やさしい心」・・・自他の生命を尊重しやさしい心を育てる教育の充実
- 「個を輝かせ」・・・よさを伸ばし、個を輝かせる教育の充実
- 「社会のために」・・・生き方を考え、社会のために役立とうとする意識を育む教育の充実

【学校教育目標】

国際社会に貢献できる日本人を育成するため、教育基本法の理念と人間尊重の精神を基調とし、よき自分らしさを生かし、生涯を通して生きる力を発揮する児童を育成する。

- ①よく考える子
- ②思いやりのある子
- ③健康でたくましい子

1. 児童の実態

- ・学習に意欲や関心をもって取り組む児童の割合が増えている。
 - ・成績は上位層・中位層の児童が増え下位層の児童が減ってきている。
- ## 2. 地域保護者の期待や願い
- ・確かな学力の育成
 - ・心身共に健康な児童の育成
- ## 3. 期待される子
- ・基礎的・基本的な力を身に付けた子
 - ・自ら考え、主体的に行動できる子

本校の考える確かな力の育成

- 学ぶ意欲 ○思考力・判断力・表現力 ○問題発見能力 ○課題発見能力 ○学び方 ○各教科における基礎・基本

【国語の授業改善のポイント】

- 語彙を増やすための辞典の活用や、日常生活で活用できる漢字指導などにより、基礎、基本の定着を図ります。
- 文学的文章では人物の心情や描写を図る記述に着目して読み取れるように指導します。
- 説明的文章では、要点を捉えたり、事実と意見の違いを読み取ったりできるように指導します。
- 相手や目的に応じて書きたいことが伝わるように書く指導の充実を図ります。

【社会の授業改善のポイント】

- 問題解決的な授業を行い、児童が主体的に調べたり考えたりできるように指導します。調べたことに対する自分の考えを表現することができるように指導します。
- 様々な資料から必要な情報を読み取り、取り出した情報の共通点や相違点を見付けることができるように指導します。
- 社会的事象の特色や相互の関連、意味を考える指導の充実を図ります。

【算数の授業改善のポイント】

- 数量や図形についての基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けさせるように、三小タイムを中心にベーシックドリルに取り組ませます。
- 児童が問題場面を捉え、自分の考えを説明できるように、具体物や半具体物への置き換え、図や表を使って問題解決に取り組ませます。
- 「基準量・比較量・割合」の関係を「 $\text{比較量} \div \text{基準量} = \text{割合}$ 」「 $\text{基準量} \times \text{割合} = \text{比較量}$ 」など場面を設定し、確実に理解させるよう指導します。

【理科の授業改善のポイント】

- 基礎的・基本的な知識・技能を定着させるように指導します。
- 身の回りの自然や科学的事象に興味・関心が向くように指導します。
- 観察、実験結果を根拠を示しながら予想したり、考察したりする指導の充実を図ります。

【生活科の授業改善のポイント】

- 出来事や学習したことの中から「考えたこと・気付いたこと」を友達や身近な人と伝え合いながらまとめさせます。

【音楽の授業改善のポイント】

- 学習のねらいや活動の流れを提示し、児童が見通しをもって、主体的に取り組めるように指導します。
- 児童が自分らしく自信をもって表現できるようにさせます。

【図工の授業改善のポイント】

- 学習のねらいや活動の流れを提示し、児童が見通しをもって、主体的に取り組めるように指導します。
- 空想の絵や見たものを自分なりの方法で表現したり、道具の正しい使い方を身に付けさせたりします。

【家庭科の授業改善のポイント】

- 製作や実習では、学習のねらいと最終的な目標を明確に示し、見通しをもって活動しながら、基礎的な知識・技能が身に付けられるようにします。
- 生活と結びついた題材を工夫します。

【総合的な学習の時間の授業改善のポイント】

- 課題解決に必要な資料を自分で見付けられるように見通しをもたせたり、資料から必要なことを読み取ったりできるように指導します。

【体育の授業改善のポイント】

- 運動に親しむ場や環境を工夫し、児童が運動の楽しさ、特性にふれるように指導します。

【外国語活動の授業改善のポイント】

- 身に付けさせたい言葉や表現などに繰り返し、触れさせます。
- ALTのサポートを受けながらも、担任が主体となり、学級の児童の実態に合った指導ができるようにします。

2. 学力向上を目指した本校の取組

様々な教育活動の充実

①保護者・地域等の教育力を生かした支援授業の推進・充実

(さらに、楽しく力が伸びる授業への改善)

②読書環境の整備と読書タイム・読み聞かせの充実

(豊かな心の育成、全ての学力の基礎を築く読書好きの子どもたちに！ 思考力・表現力の育成)

③教職経験者・教職大学院生・インターンシップ学生・学生ボランティアなどによる学習支援の推進・充実

(個に応じたきめ細やかな指導、学ぶ意欲と達成感)

④習熟度別指導による指導の充実

三小タイム(朝学習)や補習による基礎・基本の充実

(個に応じたきめ細かな指導、自己評価の活用)

学力向上のために、本校が大切にしている3つのこと

①人権教育の推進

◇全校で共通の約束(「学習のきまり」「言葉のやくそく」)を通して、学習規律を高めます。また、相手を尊重する態度を養い、互いに高め合う学習を進め、自己有用感・自己肯定感を高めます。

②教員の指導力・授業力の向上

◇教職員相互がそれぞれの指導技術や指導法を磨き合う場をつくります。教材研究を中心にOJT研修や、学年会等での研修によって授業改善に努めます。また、教室を開き、日常的に授業を公開し合います。

③家庭・地域との連携

◇家庭・地域と連携し、基本的生活習慣の育成を目指します。家族同士・学校と家庭・地域との密接なコミュニケーションを通して健全な心を育成します。

3. 各学年の授業改善推進プラン

第1学年

教科	観点	児童の様子	改善のポイント
国語	知識 技能	<ul style="list-style-type: none"> ○9割の児童は、ひらがな50音が定着している。 ○「は」「を」「へ」などの助詞の正しい選択・表記が苦手である。 ○促音「っ」、拗音「ゃ」「ゅ」「ょ」の正しい表記が苦手である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○繰り返しの学習の中で、定着させる。また、2学期以降はカタカナや漢字の学習が始まるので、同様に繰り返しの練習を通して、全員が定着を図れるよう指導する。 ○正しい表記で文が書けるよう、三小タイムや、普段のノート指導のなかで、定着させる。
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ○読み聞かせや読書に関心をもって取り組んでいる。 ○書かれていることを関係付けたり、登場人物の順序を押さえたりすることができる。 ○書かれている内容を理解したり、自分の言葉で表現したりする力が不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○引き続き、読み聞かせや図書の時間を通して、知識を得たり、楽しんだりするための読書指導を行う。 ○繰り返しの学習の中で、さらに定着を図る。 ○「確認発問」「広げる発問」「深める発問」など、思考がすっきりするよう発問を工夫する。
算数	知識 技能	<ul style="list-style-type: none"> ○数の大小関係、足し算、引き算の式の意味を理解している。 ○ブロックなどを使って10までのたし算・ひき算の計算は定着している。 ○10までのたし算・ひき算はほぼ定着してきているが不十分な児童もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「10までの数」を即座に分解・合成できるように、ブロック操作やさくらんぼカードを使って練習する時間を確保し、計算力の定着を図る。
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ○文章問題から場面をイメージして立式をすることが苦手である。 ○問題の解決方法を図や絵で書いたり、話したりすることは、あまりできない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○文章の中で数や大切な言葉に着目させ、具体物を利用して立式をできるように指導する。 ○具体物や図、絵を使って表現する問題を授業の中で取り入れる。 ○考え方や、式の意味、計算方法を自分の言葉で説明するような学習形態をとる。
生活	知識 技能	<ul style="list-style-type: none"> ○植物や生き物・自然に親しみ、関心もち、積極的に関わろうとする気持ちをもっている。 ○友達と一緒に仲良く遊んだり、話し合ったりする活動を好む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自然や友達と関わる活動の機会を多く設定し、自然を大切にしたり、自分たちの遊びや生活を工夫したりすることができるようにする。
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ○活動を楽しみながら、それらを通しての自分なりの気付きをもっている。 ○自分なりに考えたり、工夫したりして活動することができる。 ○観察カードなどに表現することを苦手とする児童の割合が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の思った通りに絵が描けなかったり、文章に表せなかったりする児童には、友達の表現や教科書の絵や文を参考に書かせたり、教師が聞きとり文章にしたりする。

音楽	知識 技能	<ul style="list-style-type: none"> ○体を動かしながら元気に歌ったり、鍵盤ハーモニカや打楽器を演奏したり、意欲的に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○引き続き、意欲的に学習に取り組めるよう、導入の工夫をする。
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ○友達の声や音を聞きながら、みんなで音楽をつくることことができる。 ○拍の流れを感じ取ってリズム打ちしたり、情景を思い浮かべながら楽曲の気分を体で表現したりすることに個人差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○音を音楽にしていけることを楽しめるように、グループで合唱や演奏する時間を設定する。 ○歌詞について考えたり、雰囲気を感じたりしながら、豊かに曲想を感じられる場面を取り入れる。
図工	知識 技能	<ul style="list-style-type: none"> ○工作や絵を描いたりすることは意欲的に取り組んでいるが、はさみやのりなどの用具の扱いは苦手な児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○手を十分に働かせて、用具を使えるように基本的な取り扱いを指導し、たくさん体験させる。
	思考力	<ul style="list-style-type: none"> ○粘土の感触やできる形の面白さを楽しみながら、発 	<ul style="list-style-type: none"> ○題材の提示方法や作例の示し方を工夫した

	判断力 表現力	想を広げ、表したいものをつくることができる。	り、友達の作品に触れたりして発想を広げられるようにしていく。
体 育	知識 技能	<ul style="list-style-type: none"> ○体を動かすことを好み、友達と楽しく運動することができる。 ○かけっこや鬼遊びなど走ることは好むが、持久力がない児童もいる。 ○器械・用具を使った遊びで、体を支えたり、ぶら下がったりする動きを苦手とする児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○楽しく、運動量の多い体育学習の流れをつくり、継続していく。 ○遊びの中で基礎的な技能が身に付くよう、ポイントを押さえた指導を行うと共に、様々な場の設定を工夫する。
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ○簡単な規則を守り、運動することができる。 ○表現・リズム遊びでは、友達の動きの良いところを見付けられる児童もいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○より楽しめる運動ができるように、規則を選択できる活動計画を設定する。 ○友達の動きの良さに気付けるように、動きの良さを示す視点を多く提示する。

第2学年

教科	観点	児童の様子	改善のポイント
国語	知識 技能	○新出漢字や言葉に興味をもって学習しているが、学習内容の定着や語彙力に個人差がある。	○宿題やミニテストで、日常的に言葉の学習を習慣付ける。
	思考力 判断力 表現力	○読み聞かせや読書に関心をもって取り組んでいる。 ○簡単な構成を考えたり、文章のつながりを意識して文章を書いたりすることを苦手とする児童がいる。 ○書かれていることを関係付けたり、人物の心情を捉えたりすることや、読み取ったことから、自分の考えをまとめることを苦手とする児童がいる。	○引き続き、読み聞かせや図書の時間を通して、知識を得たり、楽しんだりするための読書指導を行う。 ○構成メモを書いたり、伝えたいことを明確にしたりしながら、文章を書くよう指導する。 ○「確認発問」「広げる発問」「深める発問」など、自分の考えがまとめられるよう、思考がすっきりするよう発問を工夫する。
算数	知識 技能	○繰り上がりのあるたし算・ひき算の筆算については、ほぼ定着している。 ○単位換算などの基礎的な知識がまだ不十分な児童がいる。	○引き続き、繰り返しの学習で定着を図る。 ○繰り返しの学習で定着を図る。
	思考力 判断力 表現力	○必要な情報を取り出したり、情報を整理したりする力に課題がある。 ○自分なりの方法で、考えを表現する力が十分でない。	○問題場面を具体物でイメージしたり、半具体物を操作したりして、演算決定をさせ、立式させる。 ○図、絵を使って考えを表現したり、操作活動を授業に取り入れたりしながら、自分の考えを説明する力を身に付けさせる。
生活	知識 技能	○様々な人と交流したり、観察したりするなど、学習に意欲的に取り組んでいる。	○引き続き、社会および自然に対する児童の思い・願いや課題を大切にして、意欲的な活動をさせる。
	思考力 判断力 表現力	○気付いたことを友達と話し合うなどしている。 ○観察カードに記録する際、予想や気付いたことを書くことができている。	○グループや学級全体の伝え合う活動を通して、新たな事実を発見させたり、事実同士のつながりや関連に気付かせたりする。 ○観察する際に、見る、聞く、嗅ぐ、触などの諸感覚を使って、何かにとえたりするなど、様々な表現をさせる。
音楽	知識 技能	○音楽に対して興味・関心が高い。鍵盤ハーモニカ等の楽器に対する技能に自信のない児童も若干見られる。	○体の動き、声や音を通して表現する活動を取り入れ、楽しみながら体全体で表現できる工夫をする。 ○鍵盤ハーモニカ等の個別指導を取り入れる。
	思考力 判断力 表現力	○楽曲の気分を感じ取って聴いたり、音楽を形づくっている要素に気付いたりして、感じたことを言葉に表すことが難しい。	○児童が親しみやすい内容の歌詞やリズム、旋律をもつ教材を取り上げる。 ○聴く楽しさを味わわせるように、主な旋律を口ずさんだり、体を動かしたりして、感じ取らせるようにする。
図工	知識 技能	○思いや願いをもって、はさみ、のり、テープを使って作品作りをしている。	○学習のねらいや活動の流れを提示し、見通しをもち、主体的に取り組めるよう工夫する。
	思考力 判断力 表現力	○様々な材料から必要な物を選んで、作品作りをしている。	○自分の表現で自分の表したいことを描いたり造形したりして、言葉をそえて伝えられるようにしていく。 ○様々な材料から、その素材のよさを生かした作

			<p>品づくりをさせる。</p> <p>○児童作品を展示し友達の表現の良いところにふれさせる。</p>
体育	知識 技能	<p>○かけっこや鬼ごっこなど、楽しく行っている。ボール、縄跳び、跳び箱、マットなど多様な器具、道具を使って運動感覚を身に付けようとしている。</p> <p>○走る、投げる、捕る、回るなどの基礎的な技能が身に付いている児童が少ない。</p>	<p>○動きのポイントを理解させ、実践させる。また、日常的に楽しめる運動を授業で取り入れ、体力の向上を図る。</p> <p>○運動の特性を明らかにし、めあてをもたせて授業を行う。</p>
	思考力 判断力 表現力	<p>○運動を楽しく行えるために遊び方を工夫したり、規則を選んだりする力が十分ではない。</p>	<p>○自らのめあてを書かせ、意識させて授業に取り組むようにさせる。</p> <p>○ゲームは楽しく活動できるように、簡単な規則で行い、楽しくゲームができる場や得点の方法などの規則を選べるようにする。</p>

第3学年

	観点	児童の様子	改善のポイント
国語	知識 技能	○新出漢字や言葉に興味をもち学習する児童が多いが学習したことの定着や語彙力の個人差が大きい。 ○大きな声で正しく音読できている。	○宿題やミニテスト、国語辞典の活用で日常的に言葉の学習を習慣付ける。
	思考力 判断力 表現力	○事柄の順序や内容のまとまりを意識して文章を書くことができない児童がいる。 ○文章の中から大事な言葉や文を書き抜くことができるが、自分の考えをまとめることが難しい。	○順序を表す言葉や簡単な文章構成を意識して、文章を書くよう指導する。 ○本文の言葉に着目し大事なことを押さえたり、考えを広げたり、自信をもたせたりする。
社会	知識 技能	○地図記号を正しく理解している児童が多い。 ○東西南北を理解しているが、日常生活での方位の理解が十分ではない。	○教室に東西南北を掲示し、地図を見る時は四方位を確認させる。
	思考力 判断力 表現力	○見学や各種資料を使つての調べ学習に興味を持ち取り組む児童が多い。しかし、調べて分かったことを自分の言葉で表現できる児童が少ない。 ○地図を中心とした資料を正確に読み取ることに課題がある。	○見学や各種資料を調べて分かったことを表現できるよう話形や発表の仕方を指導する。 ○地図を身近に置き活用する場面を増やし、方位や距離感覚、位置、地形や地図情報を読み取る力を指導していく。
算数	知識 技能	○知識的な技能や知識の定着に差がある。 ○問題文を読み取る力が十分でない。意味がわからないために計算式を立てることができない。	○知識技能計算の習熟に重点を置き、計算力の定着を図る。 ○問題文のキーワードを中心に言葉の意味を理解させた上で式を立てさせる。
	思考力 判断力 表現力	○「計算のきまり」「計算のくふう」など立式理由が理解できないため課題解決が苦手な児童が少なくない。	○学び合いの場を設定し、目的をもった話し合いをさせる。
理科	知識 技能	○身の回りの自然に興味・関心があり、継続的に観察できる児童が多い。 ○実物を見て、細部まで観察し、特徴を捉える力が十分でない児童がいる。	○身の回りの自然や、科学的事象に興味・関心が向くように日常的に言葉かけをしていく。 ○学習したことを生活でも生かせるように環境を整備したり、言葉かけをしたりする。
	思考力 判断力 表現力	○実験・観察では十分興味をもち取り組んでいる児童が多いが、ねらいにそつた視点で実験や観察を行うことに課題がある。 ○実験・観察を通しての気づきを既習事項と比較して、文に書いたり発表したりできる児童が少ない。 ○実験して分かったことを別の事象に結びつけて考えられる児童が少ない。	○実験・観察のねらいを明らかにし、何を調べ考えるのかを明確に捉えさせる。 ○何をねらいとして、どんな方法で観察したり実験したりするのかを、正確に捉えさせる。 ○実験して分かったことを日常生活に繋げられるようにする。
音楽	知識 技能	○歌唱、器楽、鑑賞共に意欲的に活動できる児童が多い。 ○友達と楽しくペア、グループ活動ができるが、めあてに沿ってアドバイスし合うことに課題がある。	○ペアやグループでの聴き合いをする時に、めあてを掲示したり、伝え方の例を示したりし、活動の流れを明確にする。
	思考力 判断力 表現力	○曲の感じや特徴をつかむことはできるが、それを演奏に生かす技能は十分ではない。	○まず技能的な技能を定着させる。そして、どのように演奏したらよいか自分の考えをもてるよう発問する。
図工	知識 技能	○図画工作に興味関心はあるが、発想の豊かさと、絵を描くことに苦手意識をもっている児童が少なくない。	○工作の授業と授業の間に絵を入れて、絵も工作と同じように楽しんでつくっていくことを体験させる。

	思考力 判断力 表現力	○作る喜びを味わっている様子が見られるが、表現活動全般において、自分なりに表現する力が不十分である。	○児童作品や作家の作品を鑑賞し、感想を伝えることのできる場や、友達の表現から学ぶ場を多く設定する。
体育	知識 技能	○音楽を使って軽快なリズムに乗って体を動かし、運動の楽しさを味わうことができる。 ○走る、投げる、捕る、回るなどの知識的な技能が身につけていない児童も見られる。	○身体操作感覚を育てる時間を年間通して確保する。 ○年間を通して、日常的に楽しめる運動を授業に取り入れ、体力の向上を図る。
	思考力 判断力 表現力	○めあてをもって運動できたり、自分の目標を決めて取り組んだりできる児童が少ない。 ○チームで考えた作戦を実行しようとする姿は見られるが、確実に実行できない。	○自らのめあてや目標を意識させて授業に取り組むようにさせる。 ○チームの作戦を実行するためにチームで練習したり、話し合ったりする時間を設ける。
総合	知識 技能	○「大豆を育てよう」「昆虫博士になろう」「立川市の昔と今を比べよう」の調べ学習では、意欲的で興味関心をもっている児童が多い。	○自ら課題を発見できるよう、様々な資料に触れさせ、調べ方の方法を理解させる。
	思考力 判断力 表現力	○学んだこと・観察したことから学んだことを生かして、自分の意見や考えに反映し、表現することができる児童が少ない。	○学んだ情報を生かし、自分の意見や考えを明確に表現できるようにさせる。
外国語活動	知識 技能	○その単元を学習している時は、習った表現に慣れ親しんでいる。	○年間を通して、身に付けさせたい言葉や表現に触れさせる機会を、繰り返し授業の中に取り入れ、定着を図る。
	思考力 判断力 表現力	○コミュニケーション場面において、どんなことを話したらいいかわからず、友達同士での会話に、自信をもって取り組めないことがある。	○ALT のサポートを受けながら、外国語専科・担任が主体となり、児童の実態に合った学習内容を計画していく。 ○子どもが主体的に興味をもって教材に取り組み、表現できるように授業の中で手立てをとっていく。

第4学年

教科	観点	児童の様子	改善のポイント
国語	知識 技能	<ul style="list-style-type: none"> ○物語を読むことが好きで、本をよく読む児童が多いが、語彙が不足している児童や漢字が苦手だと感じている児童がいる。また、文章を書くことにおいて、個人差が大きい。 ○漢字の読み書き・言葉の理解については、ドリルやテスト等で繰り返し練習、評価しているが、課題が残る 	<ul style="list-style-type: none"> ○漢字辞典や国語辞典を積極的に活用し、言葉の意味を調べたり、考えたりすることで、語彙を増やし、漢字の成り立ちなどにも関心をもたせる。 ○中心や段落を意識し、正しい表記で文が書けるように、作文や日記を通して指導する。 ○ドリルやテスト等で繰り返し練習させる。
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の意見を発表できるが、考えたことや伝えたい事などを的確に表現することが課題である。 ○文の中心となる言葉や文にサイドラインを引き、学習しているが、筆者の主張を的確に読み取ったり、要点をまとめたりすることが苦手である。 ○物語文の学習では、熟語の意味を理解して読んでいる児童は少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○中心を意識して、話したり聞いたりできるように指導する。 ○文の中心となる言葉や文を使用した要点のまとめ方をくり返し指導する。 ○漢字辞典や国語辞典を活用し、熟語の意味を調べる活動を増やす。
社会	知識 技能	<ul style="list-style-type: none"> ○校外学習、出前授業など体験的な学習を好む。 ○調べる学習では、意欲的に取り組む児童が多い。 ○社会的事象の意味についてとらえられていないことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○調べてわかったことを分類・整理し、社会的事象の関連をとらえさせ、意味について考える力を育てる。
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ○調べることはできるが、資料を活用する力が十分ではない。 ○資料から必要な情報を自分で取り出すことが難しい場合がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○資料の読み方をおさえ、分かったことを比較・関連付け・統合して考えさせる発問を行い、考え、説明する力を育てる。 ○自分たちの生活に関連付けて学習したり、具体物・具体的な資料を用意したりして、自分の考えをもたせる指導の工夫をする。
算数	知識 技能	<ul style="list-style-type: none"> ○四則計算の技能的な計算力は身に付いてきているが、単位の変換ミスや位の間違いなどがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○計算結果がいくつくらいになるか、見通しをもたせる機会をもち、習慣づける。
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ○文章題を苦手に思っている児童が多く、計算式の意味と結び付けられていないことが多い。 ○自分の考えを友達に説明することが苦手な児童が少なくない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○文章題の題意が読み取れるように時間を設定し、言葉の意味を丁寧に教える。 ○自分の考えを式や図で視覚化できるように指導し、学び合いの場を設け、言葉による表現力を向上させる。
理科	知識 技能	<ul style="list-style-type: none"> ○へチマの観察を始め、動植物の観察・飼育に興味関心があり、継続的に観察できる児童が多い。 ○実験に意欲的に取り組み、協力し合ってすすめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○身の回りの自然や、科学的事象に興味・関心が向くように日常的に言葉かけをしていく。 ○学習したことを楽しさだけで終わらないよう、まとめたり復習したりしていく。
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ○観察したことを色・大きさ・形等に着目し、細部まで観察して気付いたことを文に表現することができる。 ○意欲的に実験するが、「なぜ? どうして?」といった、推論・実験・結果を考えたり、説明したりする力を付ける必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○何をねらいとして、どんな方法で観察し、実験するのかを、正確に捉えさせる。 ○実験・観察して気付いたことを言葉や文章で発表し合う場の充実を図る。 ○実験して分かったことを日常生活へ繋げ、新たな課題がもてるようにする。

音楽	知識 技能	<ul style="list-style-type: none"> ○活動にはすすんで取り組める児童が多いが、技能的な技能の習得に大きく個人差がある。 ○リズムにのって歌うことはできるが、曲想に合わせて歌い方を工夫したり、周りの声を聴きながら歌ったりすることに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○歌うときの姿勢、口の開け方、表情、リコーダーの技能的な奏法などの指導を繰り返し行い、徹底していく。 ○楽曲を聴いて曲想をつかんだり、歌詞のイメージを深めたりするための発問をする。
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ○曲の感じや特徴を捉えることはできるが、曲に対して自分の思いをもつことは苦手な児童が多く、個人差がある。 ○グループやペアで活動する中で、意見を活発に出し合ったり、すすんで工夫を考えたりする姿が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○一人が出した意見を全体に返したり、グループで話し合わせたりして、友だちとの関わりの中で自分の思いをもてるようにする。
図工	知識 技能	<ul style="list-style-type: none"> ○描くこと、つくることに興味・関心を示す児童が多く、意欲的に取り組んでいる。お互いの作品を見せ合う相互交流が多く行われている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習のねらいや活動の流れを提示し、児童が見通しをもって主体的に取り組めるようにする。
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ○全体的な傾向として、日常の見慣れているものへの観察力が不十分である。 ○つくる喜びを味わっている様子が見られるが、表現活動全般において、自分なりに表現することが苦手な児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○意図的にものを見る目を養い、形や色の美しさや面白さに気付かせ、そこから得たイメージを表現活動に活用できるようにさせる。 ○児童作品や作家の作品を鑑賞し、感想を伝えることのできる場や、友達の表現から学ぶ場を多く設定する。
体育	知識 技能	<ul style="list-style-type: none"> ○音楽に合わせて、軽快なリズムにのって踊ることができる。 ○休み時間、意欲的に体を動かしている児童と室内で過ごしている児童の二極化が目立つ。また、学校生活全体での運動量が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○身体操作感覚を育てる時間を年間を通して確保する。 ○年間を通して、持久走やなわとびを日常的に行い、豊富な運動量を確保する。
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ○グループで協力してアイデアを出し合って活動できる。 ○個人のめあてを立てて運動を行ったり、作戦を立ててゲームしたりできるが、グループでの関わり合いという点で課題が残る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○お互いに励ましたり、助け合ったりする場を増やす。 ○グループ、ペアなどでの関わり合い、課題の設定や振り返り、まとめる、作戦を立てるなど、伝え合ったり表現し合ったりする場を意図的に取り入れ、言語活動を充実させる。
総合的な学習	知識 技能	<ul style="list-style-type: none"> ○障害者との交流を始めとし、意欲的で興味関心をもっている児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自ら課題を発見できるよう、様々な資料に触れさせ、調べ方の方法を理解させる。
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ○調べたことや交流したことから、学んだことをまとめることができる。 ○資料や事象から読み取った情報を活かし、自分の意見や考えを明確に表現しようと努力できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○2つ以上の資料や事象を比較したり関連付けたりしながら、必要な情報を読み取る活動を多く取り入れる。 ○資料や事象から読み取った情報を活かし、自分の意見や考えを明確に表現できるようにさせる。
外国語活動	知識 技能	<ul style="list-style-type: none"> ○その単元を学習している時は、習った表現に慣れ親しんでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○年間を通して、身に付けさせたい言葉や表現に触れさせる機会を、繰り返し授業の中に取り入れ、定着を図る。
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ○コミュニケーション場面において、どんなことを話したらいいかわからず、友達同士での会話に、自信をもって取り組めないことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ALT のサポートを受けながら、外国語専科・担任が主体となり、児童の実態に合った学習内容を計画していく。 ○子どもが主体的に興味をもって教材に取り組み、表現できるように授業の中で手立てをとっていく。

第5学年

教科	観点	児童の様子	改善のポイント
国語	知識 技能	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の考えを意欲的に交流しようとする児童が多い。 ○読書への関心が高い児童が比較的多い。 ○漢字の読み書きの理解について、ドリルやテスト等で繰り返し練習しているが、定着は今後の課題である。 ○語彙が不足している児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○毎日家庭学習で、漢字に取り組む。 ○漢字テストでは、合格点に達するまで繰り返しテストに取り組ませる。 ○国語辞典を積極的に活用し、語彙指導の充実を図る。
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ○「話すこと・聞くこと」では、自分の意見を発表することができるが、伝えたいことを分かりやすく伝えることが課題である。 ○「書くこと」では、主語と述語にねじれが起きたり、伝えたいことを詳しく書いたりすることが苦手である。 ○「物語文」では、読み取ったことをもとに、自分の考えをもつことができている。 ○「説明文」では、筆者の主張を的確に読み取ることが苦手である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「話すこと・聞くこと」では、中心を的確にし、提示してから相手に伝えることを意識させるよう指導する。 ○「書くこと」では、キーワードを明確にさせ、文の技能構造や段落を意識して文章を書けるように指導する。 ○「物語文」では、引き続き、読み取ったことをもとに、自分の考えをもたせるよう指導し、自分の考えを交流する場を設定する。 ○「説明文」では、文章の構成を捉えさせ、筆者の主張のキーワードとなる言葉を捉えさせるよう指導する。
社会	知識 技能	<ul style="list-style-type: none"> ○方位や都道府県等の知識や、地図やグラフ等の資料の読み取りに関する知識量に個人差がみられる。 ○社会科の授業には興味関心があるが、社会事象等に触れる機会が少ない児童もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○資料の技能的な見方や学び方を示し、個人差に対応する。 ○技能的な知識については、折に触れ繰り返し指導するようにする。
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ○調べたことを比較したり関連付けたりして考える方法に慣れていない児童がいる。 ○調べたことをもとに、自分の考えをまとめ、表現することが苦手な児童もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業の中で比較したり関連付けたり総合的に考えさせたりする発問を取り入れる。 ○ノート書き方を工夫し、毎時間の振り返りを書かせることで、学んだことに対する自分の考えを表現することに慣れさせる。
算数	知識 技能	<ul style="list-style-type: none"> ○四則計算の技能的な計算力は付いてきているが、個人差が大きい。 ○用語の定着に時間がかかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ミニテスト等で技能的な計算を繰り返し練習させ、計算力の定着を図る。 ○授業の中で復習し、問題を数多く解く。
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ○文章題を苦手と考えている児童が多く、文章と計算式の意味とを結び付けられていないことが多い。 ○自分の考えに自信をもって発表することが消極的な児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○文章題の題意が読み取れるように指導し、理解が深まるようにしていく。 ○自分の考えを図や表等で視覚化できるように指導し、学び合いの場を設け、表現力を身に付けさせる。
理科	知識 技能	<ul style="list-style-type: none"> ○観察・実験は意欲的に行っている児童が多いが、目的意識が低い児童が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○実験の問題意識を児童から出させる授業づくりを行い、実験の目的意識をもたせる。
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ○学習課題についての解決するための方法や順序についての理解が不十分である。 ○実験をして終わりになってしまい、そこから結論を出すことを苦手とする児童が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○板書計画、ノート計画を立て、科学的な思考を養うことができるように指導していく。 ○実験、観察の結果を図や表を使ってまとめることに慣れさせ、結果からその意味や規則性を導き出すことができるようにする。
外国	知識 技能	<ul style="list-style-type: none"> ○単元の学習をしている時は、その時に習った表現を積極的に使っているが、時間が経つと忘れてしま 	<ul style="list-style-type: none"> ○年間を通して、身に付けさせたい言葉や表現に触れさせる機会を、繰り返し授業の中に取り入

語 活 動	思考力 判断力 表現力	う。 ○身体表現や歌、インタビューなどの活動に楽しんで取り組んでいるが、単なる活動になってしまうことがある。	れ、定着を図る。 ○ALT のサポートを受けながら、外国語専科・担任が主体となり、児童の実態に合った学習内容を計画していく。
	知識 技能	○歌唱、器楽共に技能的な技能は定着してきている一方で、苦手意識をもっている児童も少なくない。	○つまづきが予想される内容では、スモールステップでいねいに授業を進める。
音 楽	思考力 判断力 表現力	○曲の特徴や曲想の変化をとらえることはできるが、どのように表現したいかについて自分の考えをもてる児童は少ない。	○技能的な技能を高めた上で、さらにどう表現するかについて考えられるように、発問を工夫する。
	知識 技能	○工作には興味・関心を示す児童が多いが、絵の方は苦手意識をもっている児童が少なくない。	○学習のねらいや活動の流れを提示し、児童が見通しをもって主体的に取り組めるようにする。
図 工	思考力 判断力 表現力	○全体的な傾向として、人を平面に描くことに苦手意識をもっている。 ○表現活動全般において、自分なりに表現することに自信をもつことが不十分である。	○人を見て描く機会を多くもたせ、そこから得たイメージを表現活動に活用できるようにさせる。 ○児童作品や作家の作品を鑑賞し、感想を伝えることのできる場や、友達の表現から学ぶ場を多く設定する。
	知識 技能	○生活体験が少ない児童が多く、製作や実習の内容を説明や板書だけで理解できる児童は少ない。 ○教科書の内容だけでは、なかなか自分の生活と結びつかないようである。	○教師の示範により、製作や実習をイメージできるようにし、スモールステップで技能の定着を図る。 ○家庭生活への関心が高まるように、生活と結びついた題材を工夫する。
家 庭 科	思考力 判断力 表現力	○学習したことを基に、自分の生活で実践したり、自分の家庭生活をよりよくするための工夫を考えたりできる児童は少ない。	○チャレンジシートを作成し、学んだ事を家庭で実践し、保護者にチェックしてもらうような工夫をする。
	知識 技能	○運動が好きな児童が多く、前向きに、意欲的に活動に取り組むことができる。 ○ボール運動やゲーム学習に意欲的に取り組むことができる一方、柔軟性や技能的な動きについては苦手とする児童がいる。 ○休み時間、意欲的に外で体を動かしている児童と、室内で過ごしている児童の二極化が目立つ。	○休み時間、意欲的に外で体を動かすよう積極的に声掛けをする。また、クラスレクなど通じて、学級全体で外遊びをする時間を確保する。 ○授業前のストレッチや、学習につながるような体が慣れるような動きを取り入れ、柔軟性や身体操作感覚を養うことができるようにする。 ○年間を通した行間体育に取り組みせ、豊富な運動量を確保する。
体 育	思考力 判断力 表現力	○グループで協力して活動することができないことがある。 ○グループ、ペアなどでの関わり合いが不十分なために、課題の設定や振り返りができない場合がある。	○作戦を立てるなど、グループでの活動を取り入れ、お互いに励ましたり、助け合ったりする場を設定する。 ○お互いに見合ったり、アドバイスをしたりするなど、グループで取り組む場を設定する。 ○個人のめあてをもたせることで、課題を意識させる。また、学習や振り返りの場を設定する。
	知識 技能	○テーマをもとに、興味や関心をもち、自分の課題を設定することができる。 ○必要な資料を収集し選択する態度を育てていく必要がある。	○課題解決に必要な資料を自分で見付けられるよう、学習に見通しをもたせ、情報収集や選択できる場面を設定する。
総 合 的 な 学 習	思考力 判断力 表現力	○2つ以上の資料から比較したり、関連付けたりすることが難しい。 ○資料から読み取ったことに対して、考えをもつことが難しい。	○2つ以上の資料から、必要な情報を読み取り、関連付ける活動を多く入れていく。 ○資料から読み取った情報を生かし、学習や生活につなげて考えていく機会を設けていく。

第6学年

教科	観点	児童の様子	改善のポイント
国語	知識 技能	<ul style="list-style-type: none"> ○語句や表現方法の学習に関心をもって臨んでいる。 ○意欲をもって漢字練習を行い習熟しているが、日常的に使おうとする児童が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○日常的な読書活動を推進し、様々な語句や表現に触れさせ、語彙を豊富にする。 ○作文や日記など繰り返し学習する教材を利用し、漢字を使おうとする態度を養い、漢字の定着化をはかる。
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ○説明文の学習では中心となる言葉や文に注目させ、筆者の考えをまとめることができる。 ○自分の考えや思いを書くことはできるが、進んで発表することには課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の考えをノートにまとめることで、発表できる手だてとしていく。 ○授業中に発表できる気持ちや雰囲気作りを進め、自分の言葉で伝えることができる力を養う。
社会	知識 技能	<ul style="list-style-type: none"> ○資料の読み取りの力が身に付いてきている。 ○歴史に興味をもって学習しているが、知識の獲得に個人差が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○歴史にはつながりがあるので、つながりを明確にし、既習する単元の前と関連させながら授業を行っていく。 ○歴史を体験的に学ぶことができるように資料提示や体験的な授業を増やしていく。
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ○知識をもとに自分の考えを表現することに課題が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業の中で一問一答形式だけの発問だけではなく、オープンエンドな発問を多くし、自分の考えをもったり、歴史上の人物の関係性を表したりする活動を取り入れていく。
算数	知識 技能	<ul style="list-style-type: none"> ○公式を覚え、使うことができる。 ○既習のわり算や小数の計算の仕方を忘れている子がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ミニテストや宿題で基礎基本の計算の仕方を振り返らせる時間をとり、計算力を向上させる。
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ○既習事項を使って、問題解決することに課題が見られる。自分の考えを表現することが十分でない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○問題解決の手だてとして、図や表の活用ができるように時間の設定をする。児童同士で説明し合う時間を確保し、理解を深めさせる。
理科	知識 技能	<ul style="list-style-type: none"> ○実験方法を理解できる児童が多く見られる。 ○実験の目的意識が低い児童が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○実験の問題意識を児童から出させる授業づくりを行い、実験の目的意識をもたせる。
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎的な知識を理解している児童は多い。実験で思考が終わってしまい、日常化することに課題が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○実験から学んだことが日常生活にどのようにつながり、生かされているのかを考えさせる。 ○実験、観察の結果を図や表を使ってまとめることに慣れさせ、結果からその意味や規則性を導き出すことができるようにする。
外国語活動	知識 技能	<ul style="list-style-type: none"> ○習った表現を繰り返し使いながら、その表現に慣れ親しんでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○年間を通して、身に付けさせたい言葉や表現に触れさせる機会を、繰り返し授業の中に取り入れ、定着を図る。
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ○コミュニケーション場面において、自信をもって発話できないことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ALT のサポートを受けながら、外国語専科・担任が主体となり、児童の実態に合った学習内容を計画していく。 ○子どもが主体的に興味をもって教材に取り組み、表現できるように授業の中で手立てをとっていく。
音楽	知識 技能	<ul style="list-style-type: none"> ○全体の響きを聴いて、自分の声や音を合わせて演奏することができる。 ○苦手意識から、積極的に表現することができない児童が少なくない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○歌唱、器楽共に、基本的なことを毎回ふり返りながら、継続して指導していく。
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ○曲想の変化をとらえることはできるが、それを自分の言葉で発表できる児童は少ない。 ○正確に演奏するために努力できるが、よりきれいな音色を追求したり、工夫したりできる児童は少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○音楽の共通事項を掲示し、言葉での説明だけでなく活動の中で多く触れることで、理解させていく。 ○ペアや少人数で話し合わせたり、演奏を聴き合わせたりして、友だちとの関わりの中で自分の意見をもてるようにする。

図工	知識 技能	○工作には興味・関心を示す児童が多いが、絵の方は苦手意識をもっている児童が少なくない。	○学習のねらいや活動の流れを提示し、児童が見通しをもって主体的に取り組めるようにする。
	思考力 判断力 表現力	○全体的な傾向として、人を平面に描くことに苦手意識をもっている。 ○表現活動全般において、自分なりに表現することに自信をもつことが不十分である。	○児童作品や作家の作品を鑑賞し、感想を伝えることのできる場や、友達の表現から学ぶ場を多く設定する。
家庭科	知識 技能	○5年生の時の学習内容がしっかり身に付いている児童が多く見られるが、まだまだ説明や板書だけで理解できる児童は少ない。 ○教科書の内容だけでは、なかなか自分の生活と結び付かないようである。	○教師の示範を見せることにより、製作や実習を自分のものとし、イメージできるようにする。 ○なるべく生活と結びついた題材を取り上げることに より、家庭生活への関心が高まるようにする。
	思考力 判断力 表現力	○学習したことを元に、自分の生活で実践し、自分の家庭生活をより良くするための工夫を考えることのできる児童は少ない。	○チャレンジシートを作成し、学んだ事を家庭で実践し、保護者にコメントをもらうような仕組みを作る。
体育	知識 技能	○器械運動などの動きはよくできている。さらに、身体操作感覚を育てていく必要がある。	○身体操作感覚を育てる時間を体づくり運動などを計画的にとり、年間を通して感覚を養っていくことができるようにする。
	思考力 判断力 表現力	○作戦や動きを考えながら運動している。 ○技能ポイントを理解し、自分の課題をもって授業に取り組めるようにしていく必要がある。	○体育ノートを活用し、自らの活動や考えを振り返ることを通して、さらに自分の課題を把握できるようにする。 ○運動のポイントを明確にし、自分の課題を解決する道筋を児童が自ら見付けられるような授業づくりをする。
総合的な学習	知識 技能	○課題解決に必要な資料を図書資料やインターネットを使い収集することに慣れてきている。	○課題解決に必要な資料を自分で見付けられるよう段階的に指導をし、学習に見通しをもたせる。
	思考力 判断力 表現力	○調べたことと自分の考えを関連付けて、まとめることが難しい。	○調べたことだけで終わらないよう、自分の考えを書く機会をつくるようにする。